

たたらの子

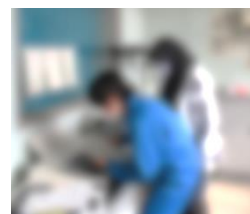
館林市立第八小学校

学校だより 50号

R2. 12. 11 (金)

群馬県新型コロナウイルス感染症ガイドライン警戒度3

11月28日(土)に群馬県新型コロナウイルス感染症ガイドラインが警戒度3になりました。学校では、市教育委員会の指示の下、感染防止対策を徹底しながら、通常登校を継続しています。冬場の対策として、常時換気のために、網戸を教室に新しく設置しました。また、保健委員会が教室の換気を放送で呼びかけ、休み時間にチェックをしています。乾燥対策では古くなった加湿器を新しくしました。子どもたちには、「マスク着用、手洗い、3密を防ぐ」



<保健委員の放送>

など感染防止をして、元気に登校しようと話をしています。

保護者の皆様、ご家庭でも引き続き感染症対策をどうぞよろしくお願いいたします。

12月の朝会・人権集会

12月2日(水)の朝行事は放送で朝会と人権集会を行いました。朝会では、「12月はまとめの月です。自分の2学期の生活目標ができるようにしましょう。」という話をしました。

人権集会では、学年代表者6名の標語発表と、5・6年代表者2名の作文発表を行いました。本校では、10月19日(月)から12月4日(金)までを人権集中学習期間とし、児童の人権に関する理解と意識の向上をめざし、人権ビデオの視聴・人権作文・標語作成に取り組みました。人権学習を通して、子どもたちが思いやりをもって人に接することができるよう願っています。



<学年代表者>

代表者は以下の通りです。

○人権標語

- 1年代表：「なまえをきいて なかよくなろう」
- 2年代表：「こえかけて 元気をだそう ともだちと」
- 3年代表：「いじめゼロ みんなえがおな 学校へ」
- 4年代表：「マスクしてても 笑顔でいれば みんながハッピー」
- 5年代表：「さかせよう みんなの個性 十人十色」
- 6年代表：「種をまき 心をつなぐ 思いやり」

○人権作文 裏面参照

三種競技チャレンジ

11月10日(火)～26日(木)の放課後に「三種競技チャレンジ」を行いました。これは、今年中止になった陸上記録会の代わりに運動能力向上を目指して、4～6年生の希望者41名が「ソフトボール投げ、50m走、立ち幅跳び」の記録更新に挑戦したものです。



<三種競技チャレンジ参加者>

子どもたちは集中して練習に取り組み、全員が自己ベストを更新できました。がんばりました。

楽しかった修学旅行！

11月17日（火）に6年生が日光東照宮と日光江戸村に、11月25日（水）に1年生が栃木県子ども総合科学館へ、11月27日（金）に4年生が富岡製糸場と群馬県立自然史博物館へ

修学旅行に行きました。4年生は学級の人数が多いので、3密を防ぐために、バスを1台増やしました。どの学年もグループ活動では、友だちと協力して見学することができました。保護者の皆様には、子どもたちの送迎やお弁当作りで大変お世話になりました。



< 6年日光東照宮 >



< 4年富岡製糸場 >



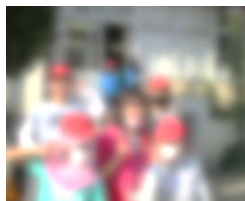
< 1年子ども総合科学館 >

卒業生の教育実習・ボランティア

本校卒業生が教育実習を1年1組で行い終了しました。また、卒業生がボランティアを3年で行っています。2人とも教師を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。



教育実習生です。11月10日から第八小学校でお世話になっています。担当は1年1組です。母校で実習できることをとても楽しみに来ました。短い期間ですが、よろしくお願いします。



ボランティアです。毎週水曜日、3年のクラスでお世話になっています。第八小学校のみんなと仲良くなりたいです。見かけたらぜひ話しかけて下さい。これからよろしくお願いします。

人権作文<ビデオ「しらんぷり」の感想>

<5年生代表> 私はビデオを観て考えたことは二つある。一つ目は、いじめをされている人をただ見つめることもいじめだということだ。いじめられている人は、しらんぷりされたことはとても悲しいと思う。二つ目は、いじめた人・された人・しらんぷりした人は、みんな心にきずが残るということだ。しらんぷりした人は罪悪感が残るし、された人は一生いやだったということが残ると思う。いじめられた人はとてもいやな気持ちになるし、いじめた人も後でやらなければよかったと悔いも残るということが分かった。

<6年生代表> 私は「しらんぷり」を見て思ったことが二つある。一つ目は、「しらんぷり」という行動はこわいなということだ。正直、いじめられるのは、怖いし、苦しいし、痛いし、やだになって思う。でも、それを誰かが感じていてもなかなか助ける勇気をもつのは難しい。これを、「しらんぷり」というのなら、自分は、気づかぬうちにしらんぷりという行動をしてるのかもしれない、と思うととても恐ろしく感じた。二つ目は、言葉は恐怖の刀だということだ。その人が言ったことを信じるかは、人次第だけど、その言葉で傷つく人だって大勢いるだろう。また、口での言葉以外にSNS上でも、きたない言葉を吐いて、傷を負わせる人に、今は誰にでもなれるような世界になっているのは、本当に恐ろしいことだと思った。また、それと同時に、その傷をいやし続けられる人になりたいなと思った。私は、まだ、人のために、勇気をふりしぼって、人を助けたことはないけど、いつかは人の心を読んでいやし、その人のヒーローになりたいなと思った。